



繋ぎとめる／零れおちる
田中真吾個展

2012.09.01 (土) – 2012.09.30 (日)

開廊日時：会期中金・土・日 12:00-18:00

オープニングレセプション：2012.09.01 (土) 18:00-20:00

「火」について書かれている文献を探してみると、実に多種多様な知識に行き当たることになる。神話や哲学、科学、そして宗教。あるものはヒトが火を使い始めた起源について考察し、あるものは火が物に与える影響について分析を試みている。

新たな文献と出会う度、火に対する思考の幅の豊かさに私は感慨を覚える。きっとそれは、ヒトが火と共に過ごしてきた幾万年という途方もない時間の深さに結びつくことになるから。

火に関する幾重にわたる思考の蓄積とは、数多の先人達が「火」そのものを、あるいは火から得られる「実感」を、どうにか繋ぎとめようと試みてきた歴史なのではないだろうか。

しかし、うつりゆく現象を前にしたヒトの常として、あるがままを繋ぎとめることは叶わず、手をのばした傍からその実感は零れおちてゆく。

だからこそ、私たちはいつまでも魅了され続けるのかもしれない。

田中真吾